

世界医師会（WMA）・オーストラリア医師会主催
H20 ヘルスサミット出席（報告）

1. 期 間：平成 26 年 11 月 13 日（木）、14 日（金）
2. 場 所：メルボルン（オーストラリア）
3. 出張者：石井常任理事
4. 内 容：11 月 15、16 日に開催された G20 各国首脳会談では、医療と健康がテーマに取り上げられていない。医療は積極的な投資であり、個人、地域社会、各国の利益に、さらに世界経済に寄与するものである。経済に参加し貢献しているのは健康な人々であり、これを継続していくためには、信頼および確信の持てる医療制度の下で守られていくことが求められる。WMA、オーストラリア医師会は、人々の健康、各国の医療制度を支援する方向性を打ち出し、これらを G20 サミットの加盟各国および他の諸国に推進していくための機会提供することを目的として H20 ヘルスサミットを開催した。サミットでは、非感染性疾患、賢明な投資としての健康、危機的状況にある医療、健康の社会的決定要因、気候と健康の 5 つのテーマで合意文書を作成し、G20 出席者を始め、世界的指導者に対しそれぞれの問題に対処する具体的な取り組みを促した。出席は、11 カ国医師会、赤十字国際会議、医療関係者等約 130 名であった。石井常任理事は、非感染性疾患のパネルディスカッションにパネリストとして参加し、特定検診・特定保健を始めとする日本の取り組みを紹介し、論議の方向についてもコメントした。

参照：G20 加盟国：アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、韓国、メキシコ、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ、英国、米国、欧州連合（EU）

5. 日 程：

11 月 13 日（木）H20 ヘルスサミット出席

セッション：賢明な投資としての健康

セッション：国際保健と投資の重要性

11 月 14 日（金）H20 ヘルスサミット出席

セッション：非感染性疾患

セッション：健康の社会的決定要因

セッション：気候と健康

以上

メルボルン ヘルスサミット合意書

2014 年 11 月 13、14 日
メルボルン、オーストラリア

非感染性疾患

H20 ヘルスサミットは、オーストラリア G20 の出席者をはじめとする世界的指導者に対し、保健部門に建設的かつ有意義に働きかけ未解決の「非感染性疾患」の壊滅的影響に対処するよう、強く促すものである。

WMA は、すべての非感染性疾患（NCDs）に対して体系的、協調的、かつ持続可能な方法で対処する必要がある、その務めは今や急務であると断言する。

非感染性疾患の蔓延は、依然として「大規模流行」の社会経済的かつ進展途上の課題である。2011 年、各国政府は、国連と協力して 2012 年末までに心臓病・癌・糖尿病・肺疾患と闘うための目標を採択し、それらの疾患を引き起こす喫煙や塩分・糖分・脂肪分の高い食品の大幅な削減のための自主的政策を考案することを公約した。

賢明な投資としての健康

H20 ヘルスサミットー人々の健康と成功した経済ーは、オーストラリア G20 の出席者をはじめとする世界的指導者に対し、保健と医療は経済の公正、公平かつ成功のための中核的な要素であることを強く促すものである。

国を超えてより良い健康の達成へと前進するためには、保健部門との有意義な対話が必要不可欠である。

H20 ヘルスサミットは、以下の点を特筆する：

- ・医療財源に関する懸念はすべての国にある。
 - ・「国家の健康（Health of Nations）」は、「国家の財産（Wealth of Nations）」の核をなす構成要素である。
 - ・良好な医療制度は、公平かつ公正な社会を示すものである。
 - ・保健部門は、多くの人々を雇用している。
 - ・生産的な社会は、健康で職務に献身と自信をもっている労働力に依存している。
 - ・経済に参加・貢献している人々は、健康を保っている限りその活動を継続する。
- 「健康は、国家が持つことのできる最大の社会資本である」

危機的状況にある医療

H20 ヘルスサミットは、オーストラリア G20 の出席者をはじめとする世界的指導者に対し、世界各地で医療を提供または受けている人々の命にかかわる危険と、結果として生じる人々の健康への影響を認識するよう、強く促すものである。

H20 ヘルスサミットは、医療への安全なアクセスを確保するための赤十字国際委員会の取り組みを評価し、医療施設や人員に対する侵害を容認しないよう法制化することを求める。

健康の社会的決定要因

H20 ヘルスサミットでは、健康の社会的決定要因に対処することは公平かつ公正な社会のための中核戦略であると決議している。H20 ヘルスサミットは、オーストラリア G20 の出席者をはじめとする世界的指導者と協力して健康の社会的決定要因への対応・対処に取り組む用意があり、オーストラリア G20 事務局にこの動きを前進させるよう要請する。

「各国間や各国内に存在する健康の社会的決定要因や人々の健康格差は顕著であり、社会正義の緊急課題となっている。これらの健康格差は、人ひとりが生まれ、成長し、生活し、働き、年を経て、そして死亡する生活環境の違いの結果であることは明らかである。保健部門をはじめとする国際社会は、これらに対処しより公平かつ公正な社会に至るための努力をさらに倍加しなければならない。」

気候と健康

「H20 ヘルス—人々の健康と成功した経済—サミット」は、オーストラリア G20 の出席者をはじめとする世界的指導者に対し、公衆の健康の利益における緊急課題として気候に関する優先的活動を促すものである。

気候システムに対する人類の影響は明確であり、最近の温室効果ガス的人為的排出量は歴史上最大のものとなっている。近年の気候変動は人類及び自然系に対して大規模の影響を与えてきた。

環境はさまざまな形で人間の健康に影響を与えている。たとえば、物理的、化学的さらに生物学的リスク因子への暴露を通して、あるいはこうした因子への対応における関連した行動の変化を通して与えている。WHO によれば、年間 1300 万人の死亡原因が予防可能な環境要因によるものである。環境リスクを軽減することで、主に途上国における子どもだけでも年間 400 万人もの生命を救えるであろう。